

# 未来のつばさ



## INDEX

### P.2 ご報告

子ども達を支える団体の活動を応援しています!

- ・第8回 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー
- ・社会的児童養護の啓発
- ・児童養護施設等の子ども達に対する就労支援
- ・軽度のハンディ(知的・情緒等)をもつ児童の自立訓練プログラム準備プロジェクト

### P.4 特集

未来へはばたく子ども達

P.6 「団体向け支援事業」の受付が開始されました!

P.8 財団トピックス

Vol.19  
2014.12



## 第8回 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー

子ども虐待は増加の一途をたどっており、平成2年度では1,100件程度だったものが平成25年度では73,800件近く(速報値)にもなっています。虐待による死亡事例も年間100件程度となり、多くの幼い子どもの尊い命が失われています。社会が子ども虐待から子どもと家族を救い、そして予防するためには、専門家だけでなく一般市民の方にも子ども虐待の現状を知ってもらう必要があります。

オレンジリボンたすきリレーでは、各コースを数十名のランナーが子ども虐待防止の象徴であるオレンジ色のたすきをリレーでつなぎ、多くの観光客や市民が訪れる横浜市の山下公園へ一斉にゴールしました。山下公園ではステージでの演出だけでなく啓発ブースを設け、子どもや家族が楽しめるイベントも行いました。

スタート地点や中継地点では手づくりのオレンジリボンや啓発グッズを市民に配布するなど、この活動をより多くの人々に知ってもらえるよう工夫を凝らしています。

この活動に参加する人々は年々拡大しており、今年は506名のランナーが走りました。また、関東だけでなく日本各地、さらには海外でも、この活動の主旨に賛同した人々が、同じように虐待防止のオレンジ色のたすきをつないでいます。

●子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会  
(神奈川県横浜市)



ご報告

# 子ども達を支える団体の

## 社会的児童養護の啓発

今、社会的養護を必要とする子どもが増えています。その多くは実の親からの虐待であり、親子関係の在り方が問題となっています。これらの虐待を未然に防止していくには、まず親の子育てを支援していく活動が必要となっています。また、虐待を受けた子どもは心に深い傷を負っており、その子どもが元気に生き生きと成長していくためには、子ども達の「育ち直し」を手助けしていく活動も欠かせません。未来を担う子ども達の健全な育成には、施設の小規模化・里親制度の拡充といった「家庭的養護」だけでなく、その子ども達が暮らす「地域的養護」の視点も必要になっています。

私たちNPOでは、行政と住民の村ぐるみの活動として、児童養護施設の子供達に、地域の「人・自然・文化」を体験させ、その子ども達が「第二の故郷」、「自分の田舎の実家」と言うほど心の癒しを与えています。地域再興と子ども達の育ち直しを兼ね備えた先駆的な活動です。

具体的には、①子守唄コンサートを開き、子守唄が持つ力(子どもを喜ばせたり、眠らせたりする効果。母親の心を和ませ、子育て意欲を高める効果)やその素晴らしさを広く普及・啓蒙することによって、児童虐待の無い健全な社会の実現を目指しています。②雪国体験として、年間を通じて、児童養護施設の子供達や職員にホームステイを実施しています。③里親相談会を県の里親連絡会と協働で実施し、情報交換や経験交流を推進しています。

●特定非営利活動法人 輝けいのちネットワーク

いのちの灯の集い2013



にしわが子守唄コンサート

## 児童養護施設等の子ども達に対する就労支援

児童養護施設には様々な事情で養育者のいない子ども達が入所しており、その数全国で約600施設、入所児童は約3万人です。彼らが大学等の高等教育に進学するには経済的な理由で難しい場合が多く、8割以上が高卒・中卒で就労しなければならない現状があります。しかも、子ども達の複雑な家庭環境や施設出身であること、学歴の低さ、専門スキルの欠如、ロールモデルの少なさなどから、安定した職業に就けず、就いたとしても短期間で辞めてしまい、貧困層となっていく場合があります。また、こうした子ども達が大人になり、非常に若い年齢で家庭を持ってしまい、その家庭で生まれた子ども達に貧困の連鎖が繰り返されるケースもあります。

こうした厳しい状況に対して、一人ひとりの子どもに寄り添い、ITスキルや調理の技術を身に付けさせ、会社見学や就労体験を行い、就職相談会や社会人ボランティアとの交流会を開き、時には同じ環境下の子ども達同士での話し合いの場の提供も行っています。

このようにきめの細かいキャリア教育、就職相談を行うことによって、子ども達の離職率、非正規雇用率が改善し、適性のある会社で長く働き続けられる環境が整うと考えています。

企業や一般の方からの偏見が取り除かれ、若者達が社会人として自立し、活躍できるよう頑張って支援しています。

●特定非営利活動法人 フェアスタートサポート



卒業パーティー



児童養護施設での料理教室



施設職員向け勉強会

# 活動を応援しています!

## 軽度のハンディ(知的・情緒等)をもつ児童の自立訓練プログラム準備プロジェクト



グループホームイメージ



児童養護施設 別府光の園

近年、要社会的養護児童の中で、障がい等のある児童が増加しており、児童養護施設においては、23.4%にのぼっています。18歳で特別支援学校高等部を卒業、施設から出た後は、親族の支えの無いまま生活保護に頼り、就労支援のある障がい者施設での生活あるいは自立生活能力のないまま一人暮らしを強いられます。ホームレスとなったり、利用され犯罪に巻き込まれたりする危険をはるかに上回ります。

障がいのある児童に、一人暮らしを模した環境での食事づくり・洗濯・掃除・電話の対応などの訓練を行うことは、児童を急激な生活変化によるパニックに陥らずに社会的に自立させていくもので、対象者の状況に配慮したきめ細やかな支援となります。

当園では、新設されるグループホーム利用予定の児童を対象に、当園で暮らしている間に、自立訓練開始前の個別プログラムを実施し、徐々に生活の場をグループホームに移せるよう環境整備を行います。施設の準備、指導員の研修、対象者の選考、訓練開始前の練習を当年度に行います。また、12回に分けてワークショップを行い、ソーシャルワーカーが日常生活や職場でのルール、料理や健康、対人関係の処仕方などを指導します。

この事業は当初は当園卒園児童を対象としますが、順次大分県内の児童養護施設退所児童に拡大していく予定です。

●社会福祉法人 別府光の園



登校風景



# 未来へはばたく子ども達

施設等を巣立っていった子ども達が、社会へ出てみて実感したその厳しさや楽しさ、また、多くの人に支えられているという現実について、感謝の気持ちを込め、近況を届けてくれました。



## 保育士としての経験を重ね いずれはグループホームをつくりたい!

●短期大学幼児教育学科 学生暮らし

4月に入学して早5カ月が経ちました。最初の頃は友達ができるか、勉強についていけるかとても不安を感じていましたが、学校の雰囲気やクラスにもすぐに慣れ、学生生活がとても楽しいです。ただ、慣れない寮生活にさみしさを感じ、園の先生や家族を思い出すこともたくさんあります。ですが、自分にはどうしても叶えたい夢があるので、一生懸命頑張りたいです。2年後までに実習を重ね、自分に合う児童養護施設に就職し、保育士として入所している子ども達に最善のことをしてあげられるように成長したいと考えています。そして、保育士としての経験を重ね、いずれは自分がつくりあげたグループホームで子ども達と暮らしていきたいです。その夢の為に、小さいことからコツコツ積み上げていきたいと考えています。応援してくれる家族や園の先生の為に、また同じ夢を持つ仲間とともに、一生懸命勉強に励みたいと思います。

### 施設長より

幼児教育学科にて、充実した学生生活を送っているようです。時々施設に遊びに来て、元気な姿を見せてくれます。学生寮での暮らしにも慣れ、先輩からも可愛がられているようです。夏休みと同時にアルバイトもはじめ、卒業前に自動車免許取得も考えているようです。自分の夢に向かい、これからもまっすぐ歩いてもらえたらと願っています。これからは奨学金の返済等を含め、アフターケアをしていきたいと思います。

## アルバイトをしながら 勉強もできるような工夫していきたい!

●福祉専門学校 一人暮らし

現在アルバイトは焼肉屋とコンビニの夜勤で働いています。焼肉屋は4月から5月頃までは1週間に6日間働いていました。バイトが終わり家に帰ってもすぐ寝るばかりで疲労が取れず、そのせいか学校の授業にも響き、試験でも点数に結びつかず、再試験でお金を払うことになってしまいました。また、夜勤のアルバイトをすることで、生活のリズムが崩れ体調が悪くなったり、遊びや外食にお金を使うことも多く、自分が気付かないうちにお金を無駄に使うようになってしまいました。私は専門学校を卒業後、介護士として社会に貢献する人になるという夢があります。そのために、アルバイトや友達との付き合いに時間をつかうのではなく、学校を中心に考え、アルバイトの収入は生活費や学費に向けられるよう工夫していきたいと思っています。学校生活はとても充実しています。よい勉強をして夢の実現を目指そうと改めて考えています。



### 指導員より

新しい生活は決して順調とは言えず、自分自身の行いがすべて自分に返ってくるという事、またそれを自分自身で取り戻さないといけないという事を学んでいる最中だと思えます。友達と遊ぶと外食になりお金がかかるが、あまり本人の中で浪費しているという感覚もなく過ごしていたようで、そのつけがまわってきたと言っていました。今後も定期的に話を聞いたり、大失敗にならないように見守っていききたいと思います。



## 調理師免許取得に向けて 頑張っています!

●カフェレストラン勤務 一人暮らし

今年から私は、カフェ関連事業の会社に就職しました。アジア系の飲食店で、野菜の仕込みや盛り付けをしています。自分の働いているお店はすごく厳しいですが、お客様の笑顔や「ありがとう」という言葉に元気づけられています。また、職場で親しくしてくださる方々もできて、自分が辛い時、悩んでいる時に話を聞いていただいたり、充実しながら仕事をしています。まだ4カ月という短い期間で自分もまだまだ未熟者ですが、いろいろな仕事を覚えるために、ノートに書いたり、写真など貼付けたりと分かりやすいように工夫してまとめています。目標は最低でも2~3年今の職場で働いて調理師免許を取ることです。その為に、本を買ってよく読んだりノートにまとめたりして、一歩ずつ調理師免許取得に向けて頑張っています。就職にあたって、奨学金を支援していただいたり、いろいろと支えていただきありがとうございます。

### 施設長より

就職先は決まったものの、住む家がなかなか決まらず、本人も不安を抱えたままの就職でした。仕事は一日中立ち仕事で、教えてもらって覚えることに疲れてしまい、行くのを嫌がることもありましたが、いろいろな方々に励まされながらなんとか頑張ることができたようです。1カ月半頃には住む家も決まり、落ち着いたのではないのでしょうか。時々悩み事を(施設職員に)相談しに来ているようです。体調に気を付けて頑張してほしいと思います。

## まずは今の仕事を 長く続けられるように頑張りたい!

●塗装業勤務 今までと同じ施設暮らし(近いうち自立予定)

4月に入社した食品会社が自分に合わなかったため5月下旬に退社し、6月中旬ごろから塗装会社で一生懸命働いています。食品会社を辞めてまたゼロからのスタートでしたが、園で試用期間の3カ月お世話になることになりました。まずは半年、次に1年2年と何年も続けられるように頑張りたいと思います。自分で会社をつくるという夢はまだ諦めていないので、今の仕事を頑張りたい、1日も早く夢が現実になると良いなと思っています。実際に働いてみて、お金は簡単に手に入るものではないということ、大切に使わないとすぐなくなるということも分かりました。今までは、園で出してもらっていたお金も、今は全て自分で出し入れしなければならないので、仕事は簡単に辞めるようなものではないということも自分の身をもって体感しました。1日も早くお世話になった方々に恩返しできるように頑張っていこうと思います。

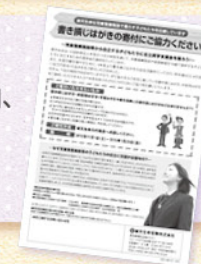


### 副園長より

自分で希望し選んだ仕事で、在園中にも「問題のない児童」と安心して送り出したのですが、挫折してしまいました。本人は意識していないようですが、会社を辞めた理由には一人暮らしの寂しさがあったように思います。頻りに園に入り出ることができる状態が必要であり、モラトリアム期間としての支援も再考せねばと思います。彼の現在の施設生活は施設独自の判断です。「金は出さないがアフターケアしなさい」という矛盾を象徴するケースです。

書き損じはがきによるご寄付  
ありがとうございます

当財団では、書き損じ、未使用はがきによるご寄付を受け付けています。特に楽天生命保険株式会社様には、今年も2014年11月1日~2015年1月23日の間、「書き損じハガキ回収キャンペーン」を実施いただいております。皆さまの継続的なご支援に心より感謝申し上げます。





# 「団体向け支援事業」の 受付が開始されました!

財団では今年度事業について支援上限100万円の助成申請を受け付けています。  
実施要項等の詳細は財団ホームページをご覧ください。

## 支援事業の目的は?

当事業の目的は、保護者の健康上、経済上の事情から監護を受けられない「環境上養護を要す児童」を対象に施設等の在籍者、また退所者を広く支える活動団体、組織、イベント等の事業へ助成支援を行い、より豊かな夢のある子ども達の未来を実現することを目指します。



## 事業の事例は?

- 卒園する児童を対象に、学校・施設でカバーできなかった社会教育スキルの講習会
- 苦手教科を集中的に勉強する夏季・冬季特別教室の実施
- 社会人のためのパソコン教室
- 施設職員の指導員キャリアアップ研修会
- 地域的養護、虐待防止などの啓蒙活動キャンペーン
- 社会へ巣立った退所者の相互扶助・交流と相談窓口の運営
- 委託里親間の情報交換などを目的とした里親連絡会の運営・設置

## 支援対象となる事業は?

- 事業内容が
  - ① 将来、社会的養護環境で養護される子ども
  - ② 養護されている在籍者
  - ③ 養護環境の退所者①～③を対象とし、その目的が明確であること
- 国内の児童養護関連団体で適正な事業計画に従って遂行する能力を有する団体であること
- 事業遂行に足る他の財源がなく、本制度の支援金を有効活用し、効果が十分期待できる事業であること
- 事業の効果が多くの子ども達の利益に資するものであること

## 審査の視点は?

- 妥当性、必要性** 事業の受益者のニーズと合致しているか、事業の対象や手法の選択は適切か、など事業の妥当性や必要性を問う
- 有効性** 事業実施により、目標がどの程度達成されるか、その事業の効果を問う
- 効率性** 事業実施にあたり、資源(資金、人材、知識、技術、物資等)が効率的に活用され、事業により期待される効果はコストに見合うか
- 先駆性** 事業が、直接的・間接的にどのような社会的インパクトをもたらすことが期待できるか
- 自立発展性** 支援終了後も、事業の維持・発展が期待できるかという、事業の自立発展性を問う



## 財団トピックス

- 財団の名称が、「公益財団法人 楽天 未来のつばさ」に変わりました。(平成26年10月21日付)

設立母体の楽天生命保険株式会社様が楽天グループ入りしたことに伴い、児童自立支援への取り組みを強化し、幅広い事業とすべく、このたび財団名称を変更いたしました。

旧名称	公益財団法人 未来のつばさ財団
新名称	公益財団法人 楽天 未来のつばさ

これからは、皆さまのご支援と楽天グループの協力のもと従来以上の子ども達の豊かな未来を応援する取り組みを多数実施してまいります。

- 岩ヶ谷晃久理事に替わり、黒坂三重理事が就任されました。  
(岩ヶ谷理事、長い間お疲れ様でした。黒坂理事、これからも宜しくお願い致します。)

## ホームページをぜひご覧ください

### 公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

楽天未来のつばさ

検索

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階  
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870  
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp